

# アジルテナガザル 2 頭の人工保育

「新しいサル像をめざして」(2002)

京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター 編

加藤 朗 野

1997年まで1 ケージ1 頭飼いを行っていたアダルト♂♀をペア飼いにした後、♀(イブー)は推定30歳という高齢にも関わらず、1998年6月9日に♂ツヨシを、続いて1999年6月2日に♂ラジャを出産しました。イブーは子どもを抱かず、足で驚づかみにして授乳をしなかったため、残念ながら生後数日で2頭とも人工保育に切り替えることとなりました。

テナガザルの人工保育は初体験でしたが、センタースタッフと研究者の協力の下、私たちの不安をよそに、現在に至るまで2頭はすくすくと元気に育っています。

乳児期には下痢が続き、冬には風邪をひいたり、1999年6月にはラジャが父親であるマミーに左前腕を咬まれるといった事故がありましたが大事には至ってません。

2000年には、2才のツヨシと1才のラジャを母親イブーと同居させることもできました。

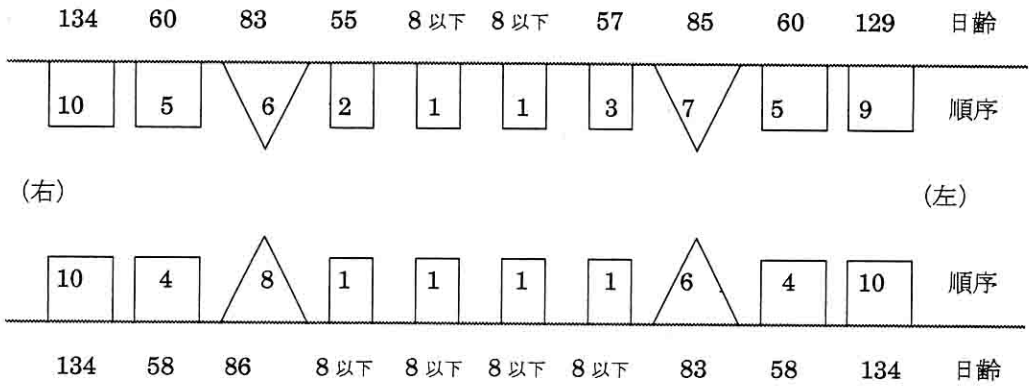
アジルテナガザルは、過去の文献からも獣医学的研究はほとんど行なわれておらず、1才までは2週間おき、2才からは1ヶ月おきに採血し、血液学的解析を行うと同時に、2000年8月より1ヶ月おきに生体計測も行い、その他にも我々に貴重なデータを提供してくれています。

## <人工保育に携わった方々>

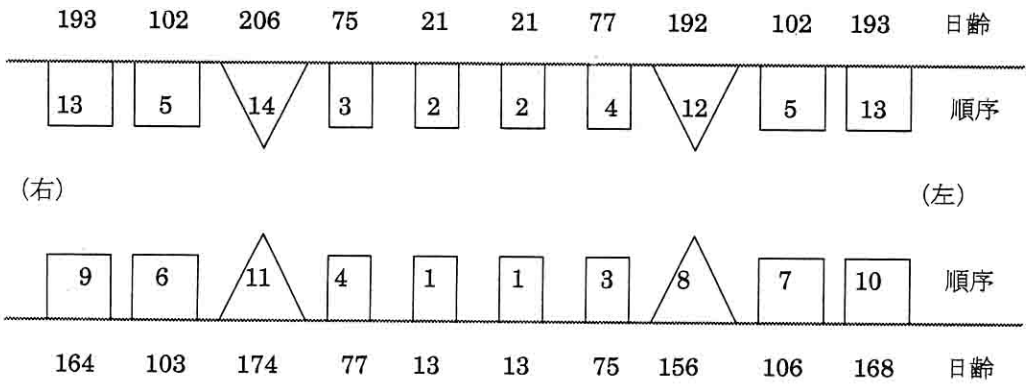
鈴木樹理先生、前田典彦さん、橋本ちひろさん(以上人類進化モデル研究センター)、松沢哲郎先生、友永雅己先生、打越万喜子さん、水谷俊明さん、山越政子さん、井上千聡さん、クロウディア・ソウザさん、脇知子さん(以上思考言語分野) 茶谷薫さん(遺伝子情報分野)



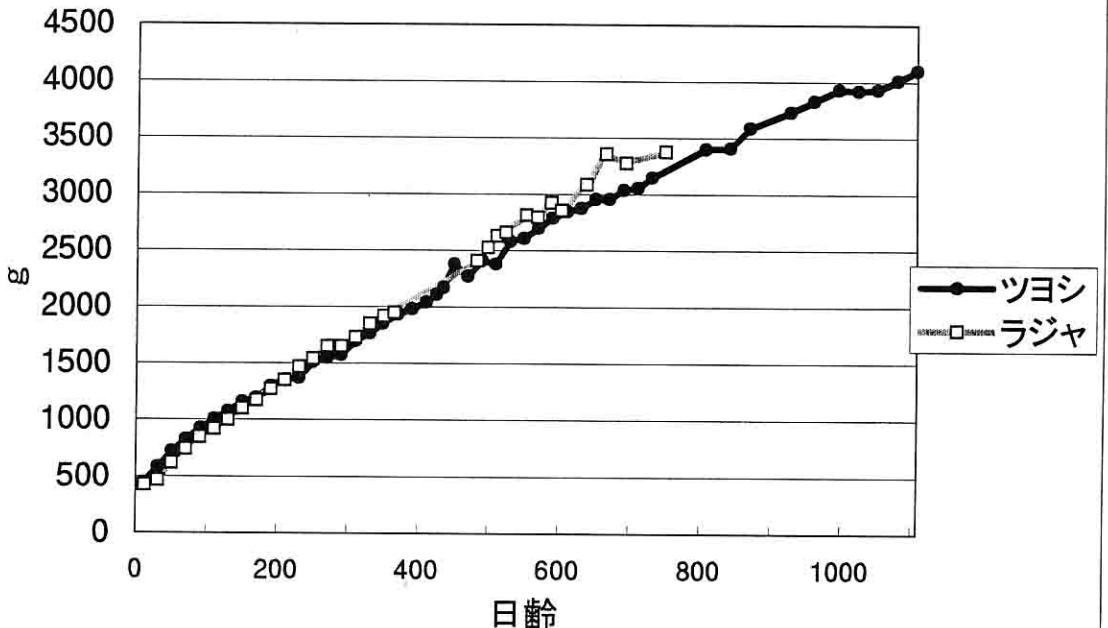
アジルテナガザル ツヨシ♂ の歯の萌出順序と日齢



アジルテナガザル ラジャ♂ の歯の萌出順序と日齢



アジルテナガザル2頭の体重曲線



(かとう あきの、 京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター)